

市にバチ個一は目もつる光安をお
 取んと書残の書信も光安に宛れ
 圓一と付名をかりては正名に思
 取を懸念形滅亡の附とありとや
 義光と書附系有とあるは一と
 りんは名信のめとあるは一とや
 市にバチ個一は目もつる光安をお
 取んと書残の書信も光安に宛れ

江戸もさういふ南を以て外^{おと}りを
 恒^{とこ}借く攻める所形難本といへば
 屋形舟の智のものをたす人とおまね
 南のこの二丁林^{かん}字川のわきと云ふれ
 るは休むるなり紀より陸地討ち
 ありしものバのれりといふ馬を
 近一里とて急ぎの波をいひぬる後
 常言に義光の勘^{かん}氣^きを^きか^けてとて